

リトル・ストーリー

シエイモ

4





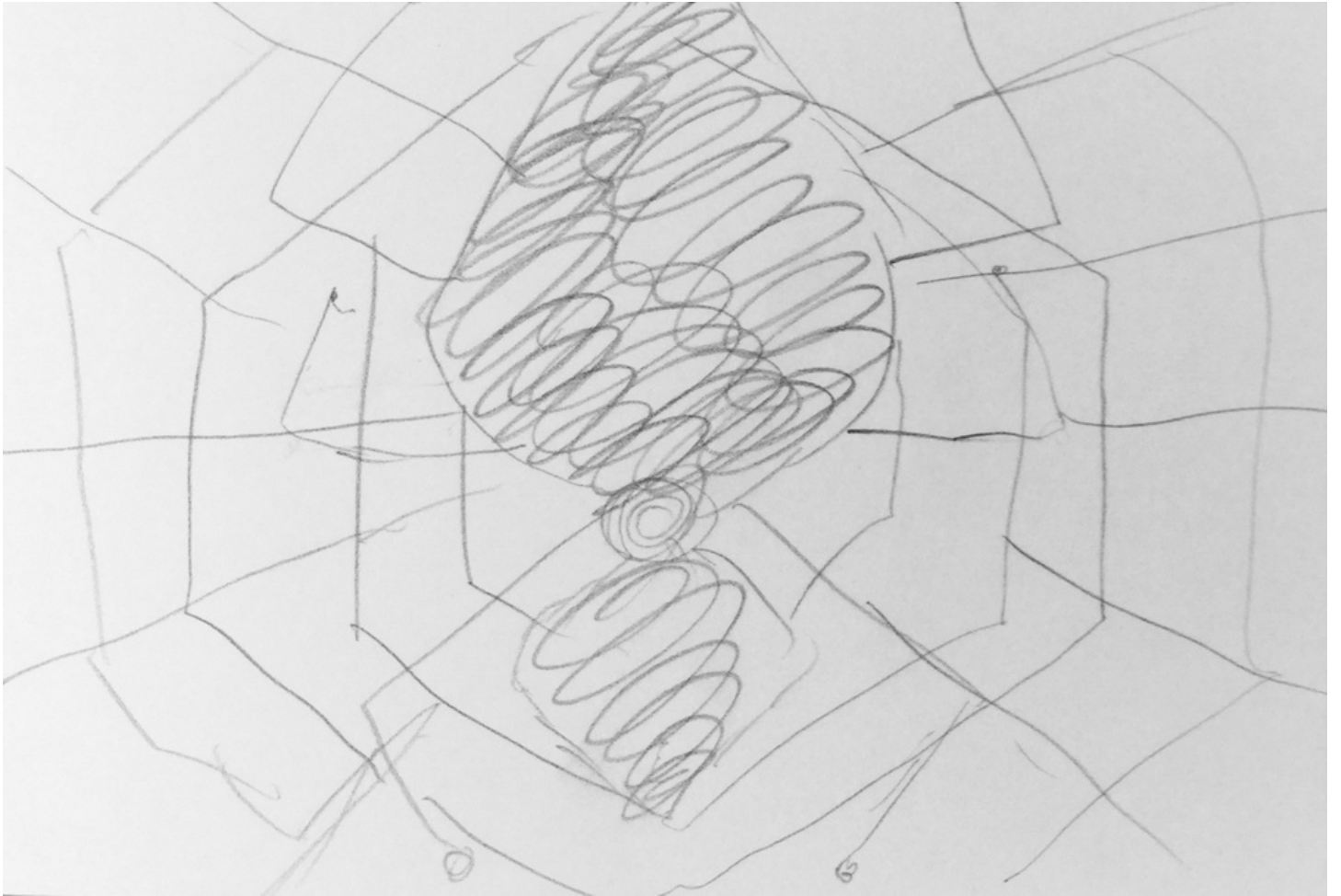
夜の公園でうさぎの少年は蜘蛛の巣に引っかかり転びました。

取り払おうにも頑丈な蜘蛛の巣、

完全に身動きが取れなくなってしまいました。蜘蛛は、

さあ若い魂を頂こうか

と、うさぎの少年に近づき命を奪おうとした瞬間、



—僕を必要とする者なんていないからどうぞ魂をお取りください。—

—逃げたいとは思わないのかい—

—自分がどこに行きたいのかも分からないのに自由になりたいなんて馬鹿らしいです。—

—そんな腑抜けた魂はいらないよ。

でもここで会ったのも何かの縁。

君が大切な誰かを見つけられるのを

私はいつでも願おう。

さあもうお行き。じきに空も明るくなる。—



朝靄の中うさぎの少年は公園をぬけ自分の家へと走っていました。

今はまだひとりぼっちだけど、

胸の中には蜘蛛の言葉がポッと灯りをともしていました。

きっといつか出会える。

うさぎの少年の顔には笑顔がありました。

リトル・ストーリー4

<http://p.booklog.jp/book/108843>

著者：シェイモ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/pcjohtwejk/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/108843>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/108843>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ